

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: 環境とアレルギー—子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)から考える

和文タイトル: 環境とアレルギー—子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)から考える

ユニットセンター(UC)等名: メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: 子ども健康科学—大会特集号

年: 2020 月: 12 巻: 頁:

筆頭著者名: 山本貴和子

所属UC名: メディカルサポートセンター

目的:

主にアレルギー分野に関連するエコチル調査のこれまでの報告について概説し、これまでの知見を含め子どもの取り巻く環境問題について考えたい

方法:

これまでのアレルギーに関するエコチル調査論文発表についてレビューした。

結果:

何らかのアレルギー疾患と診断されたことがある父親の割合は42.8%、母親の割合は50.9%であり、エコチル調査に参加している子ども多くはアレルギー素因をもっていると考えられた。妊婦の血中金属類濃度(カドミウム、鉛、水銀、セレン、マンガン)と特異的IgE抗体(卵白・ハウスダスト・スギ・動物上皮・蛾)との関係を検討した。検討の結果、血中水銀濃度の低いグループと比べて、やや高い及び高いグループではスギ特異的IgE抗体高濃度の人が多かった。

考察:(研究の限界を含める)

母親のアレルギーや子供のアレルギーに関連する因子について検討され論文報告されてきた。

結論:

エコチル調査の結果から、子どもたちが健やかに成長できる環境、安心して子育てができる環境の実現を期待したい。